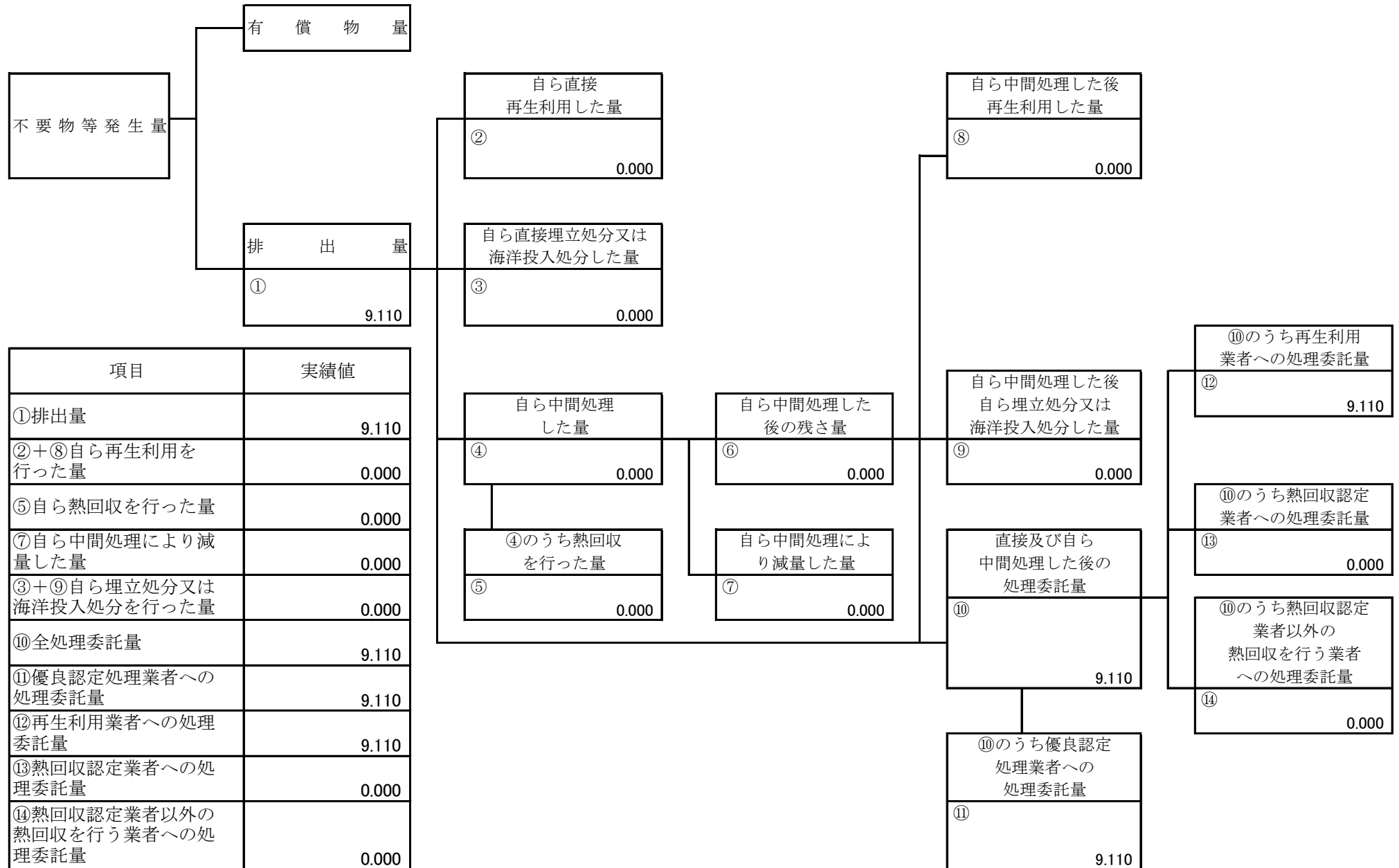


産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和 7 年 5 月 23 日			
佐賀県知事 山口 祥義 殿			
提出者			
住 所 佐賀県佐賀市諸富町大字諸富津450味の素(株)九州事業所内			
氏 名 味の素エンジニアリング株式会社			
九州事業所 所長 鈴木 亮太郎			
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 0952-47-5987			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称		味の素エンジニアリング株式会社 九州事業所	
事業場の所在地		〒840-2105 佐賀県佐賀市諸富町大字諸富津450 味の素(株)九州事業所内	
事業の種類		総合工事業	
産業廃棄物処理計画における計画期間		令和6年4月1日～令和7年3月31日 (1年間)	
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目		目標値	
項目		目標値	
排出量	1,980.000 t	全処理委託量	1,980.000 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	優良認定処理業者への処理委託量	1,980.000 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	再生利用業者への処理委託量	463.250 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	認定熱回収業者への処理委託量	22.520 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t
※事務処理欄			

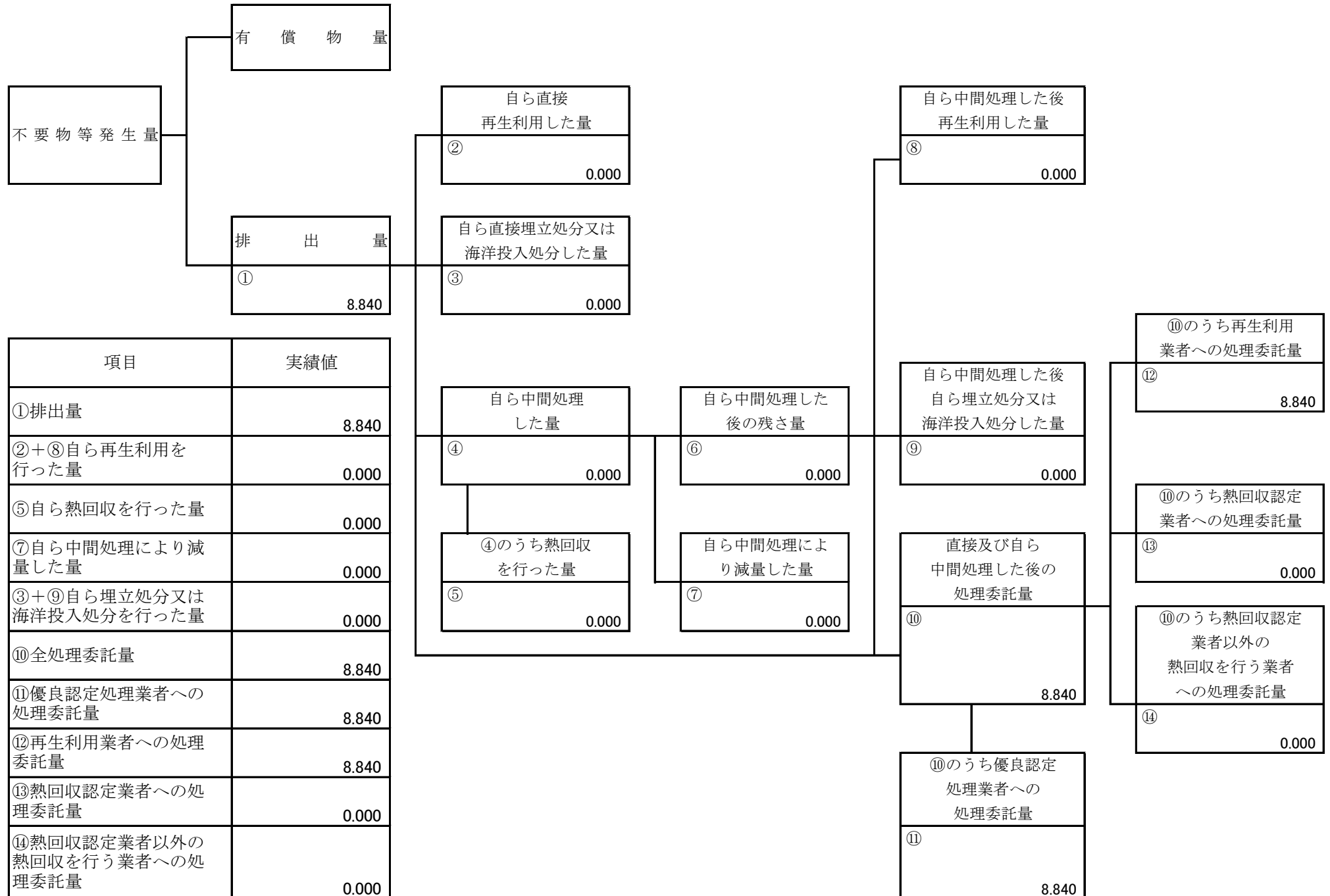
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 汚泥(泥状のもの))



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 無機性汚泥)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃アルカリ)

有償物量

不要物等発生量

排出量

①

21.430

自ら直接再生利用した量

②

0.000

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

③

0.000

自ら中間処理した量

④

0.000

④のうち熱回収を行った量

⑤

0.000

自ら中間処理した後の残さ量

⑥

0.000

自ら中間処理により減量した量

⑦

0.000

自ら中間処理した後再生利用した量

⑧

0.000

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑨

0.000

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑩

21.430

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪

21.430

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫

21.430

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬

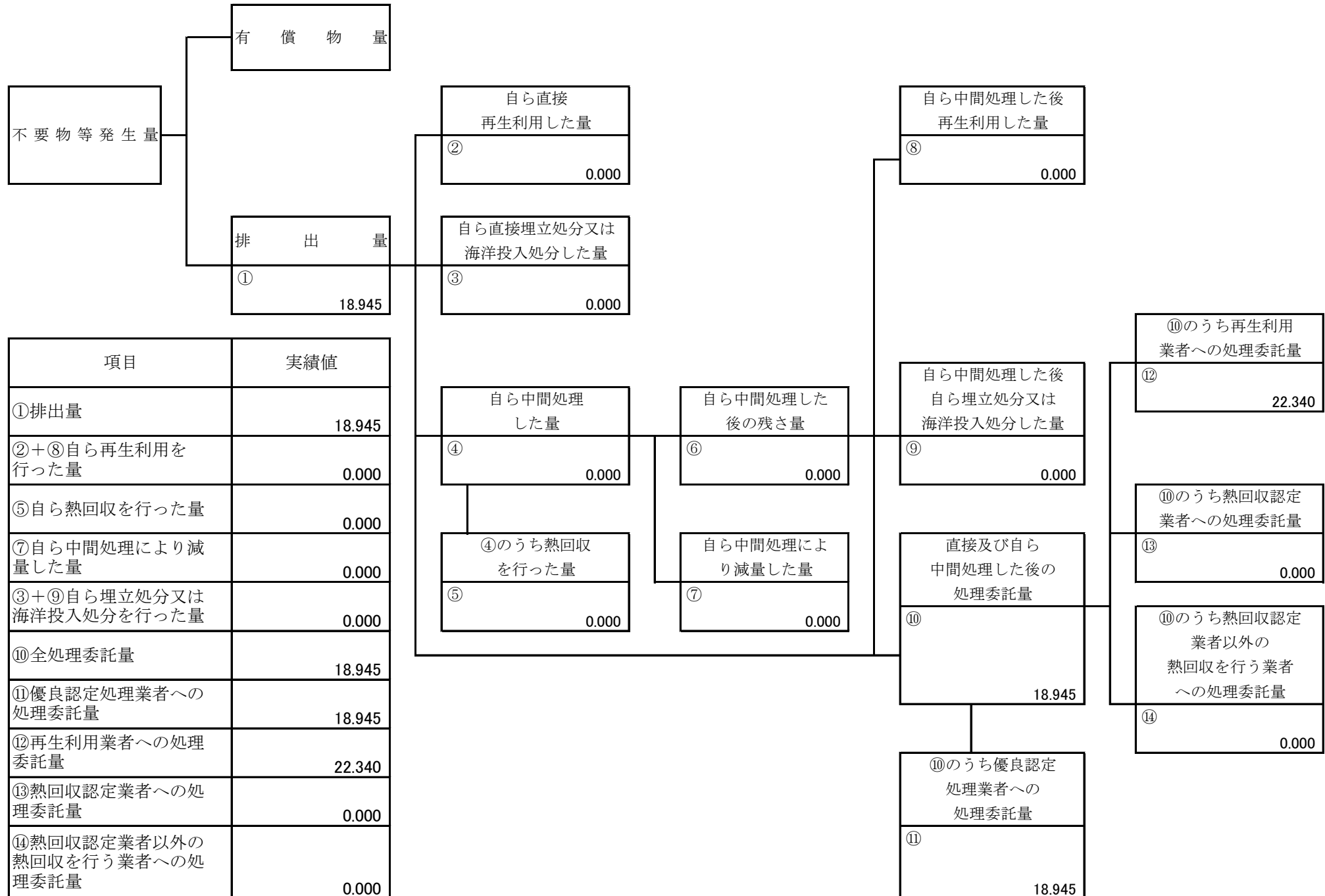
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭

項目	実績値
①排出量	21.430
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	21.430
⑪優良認定処理業者への処理委託量	21.430
⑫再生利用業者への処理委託量	21.430
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

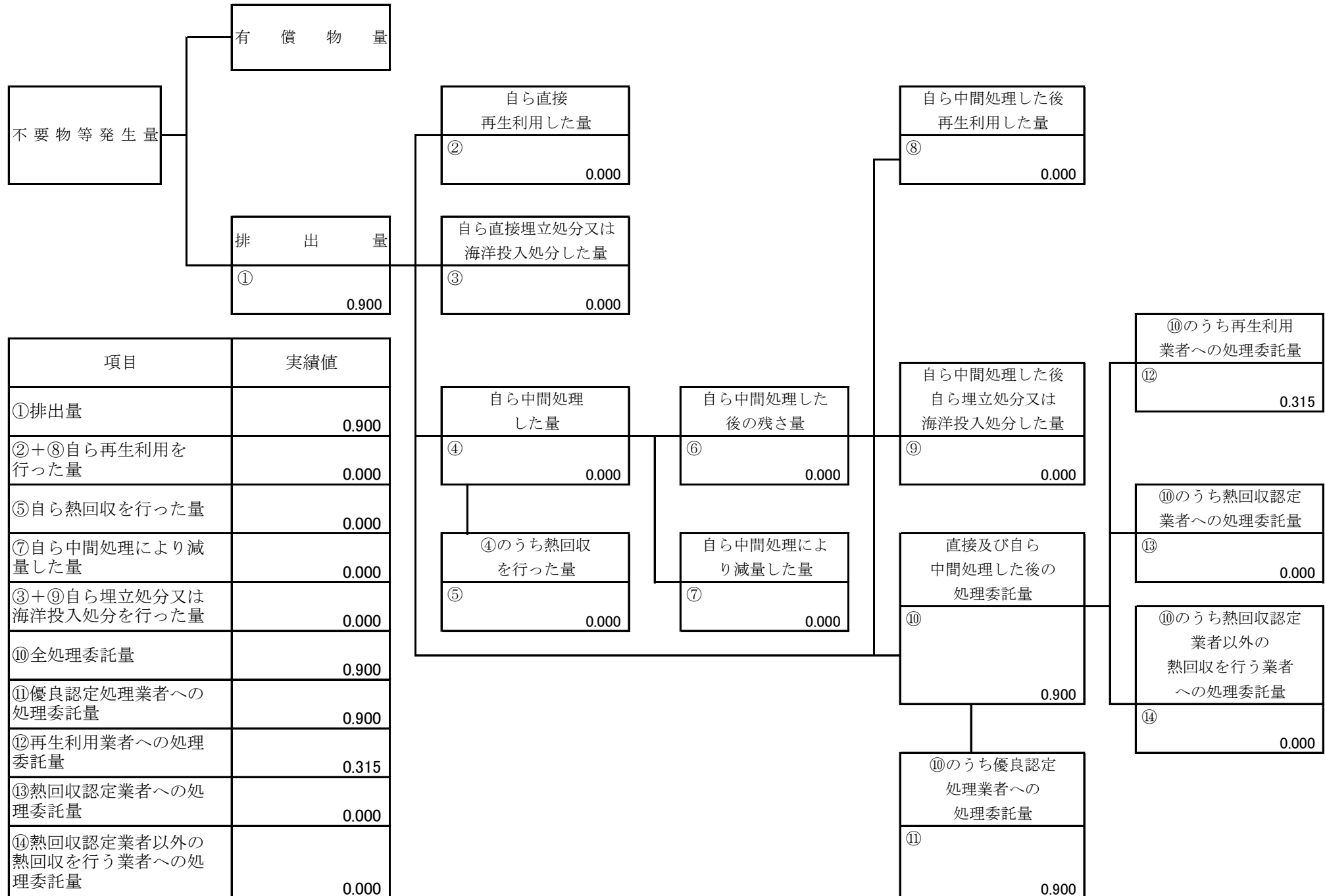
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類)



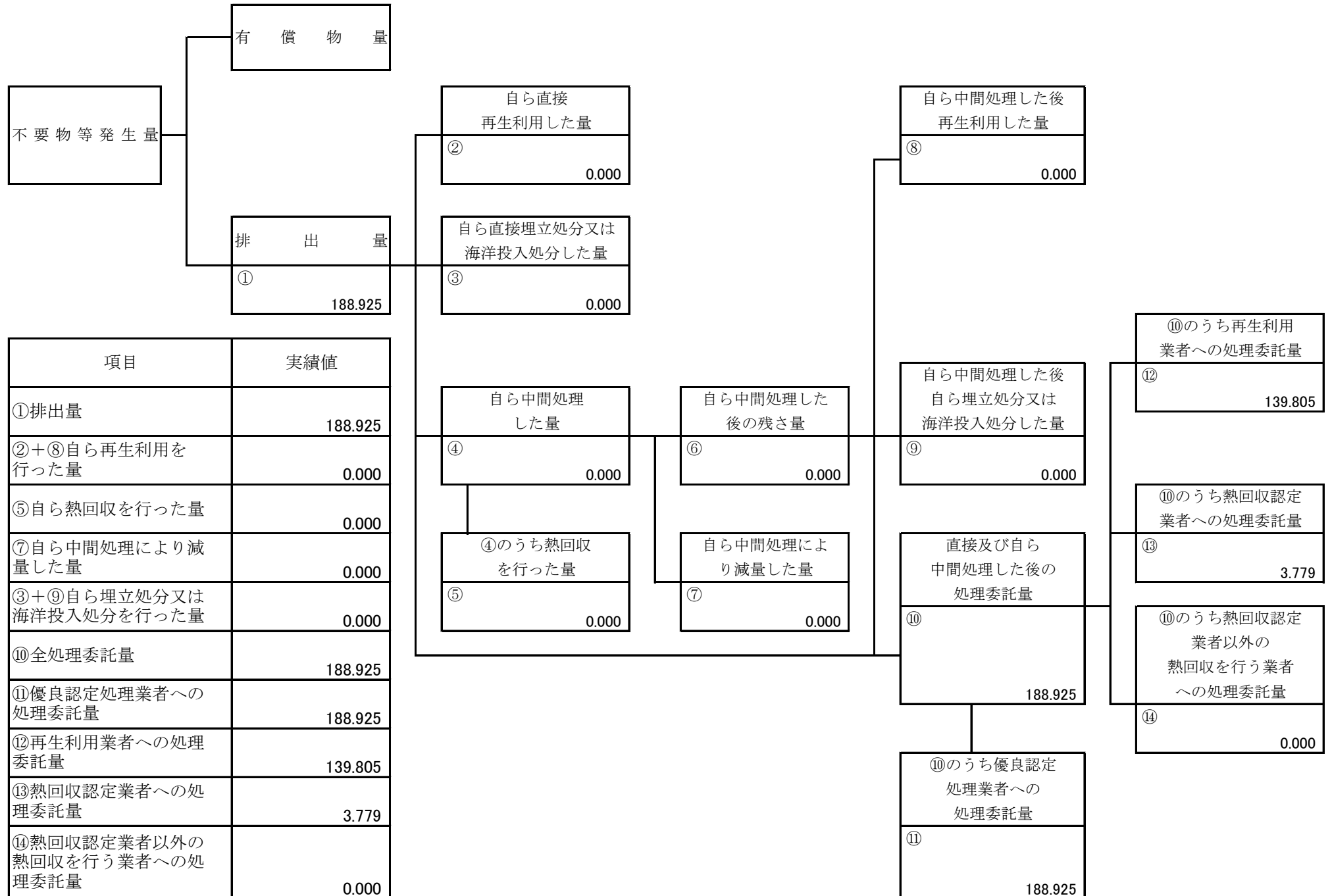
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 建設工事の紙くず)



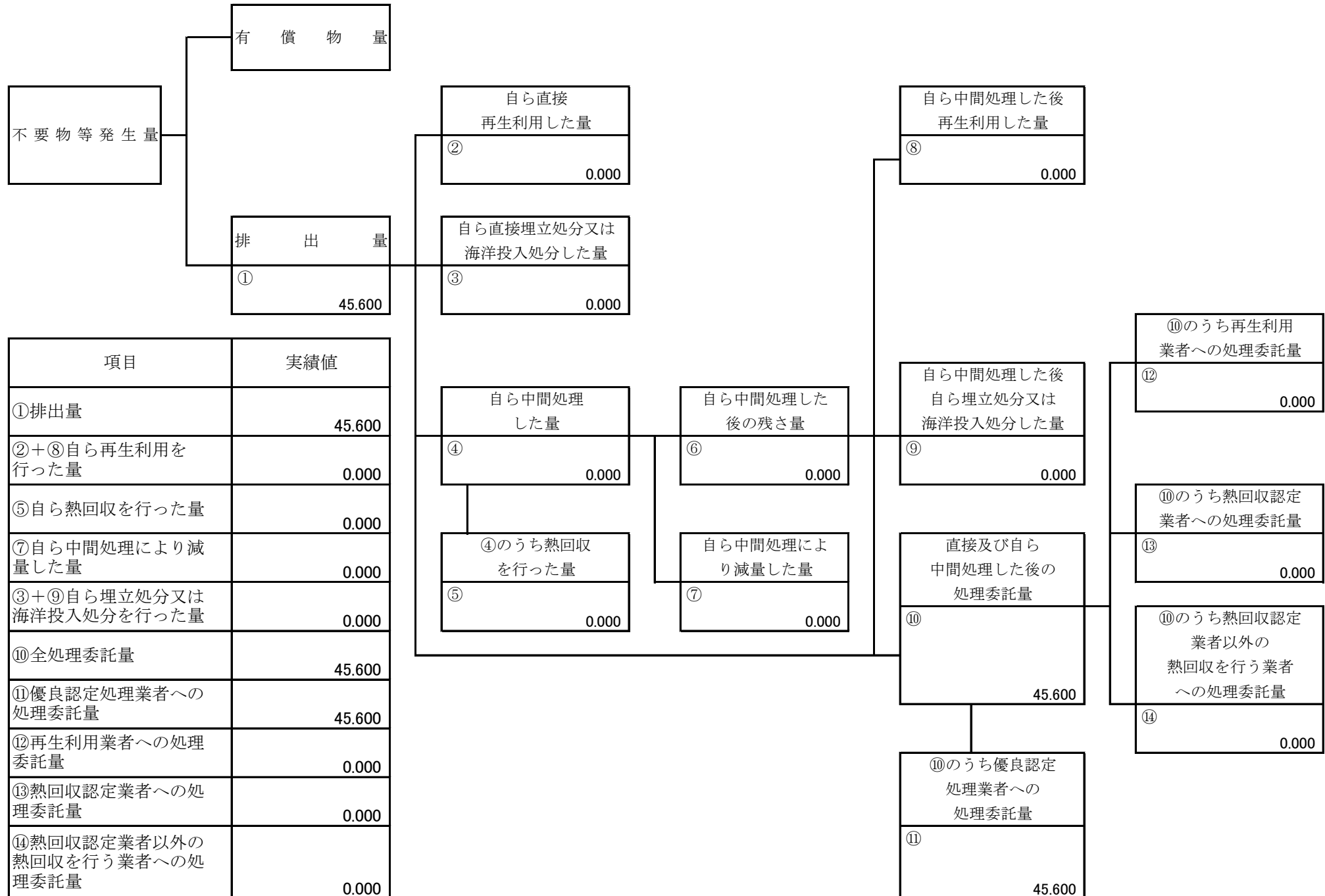
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 木くず)



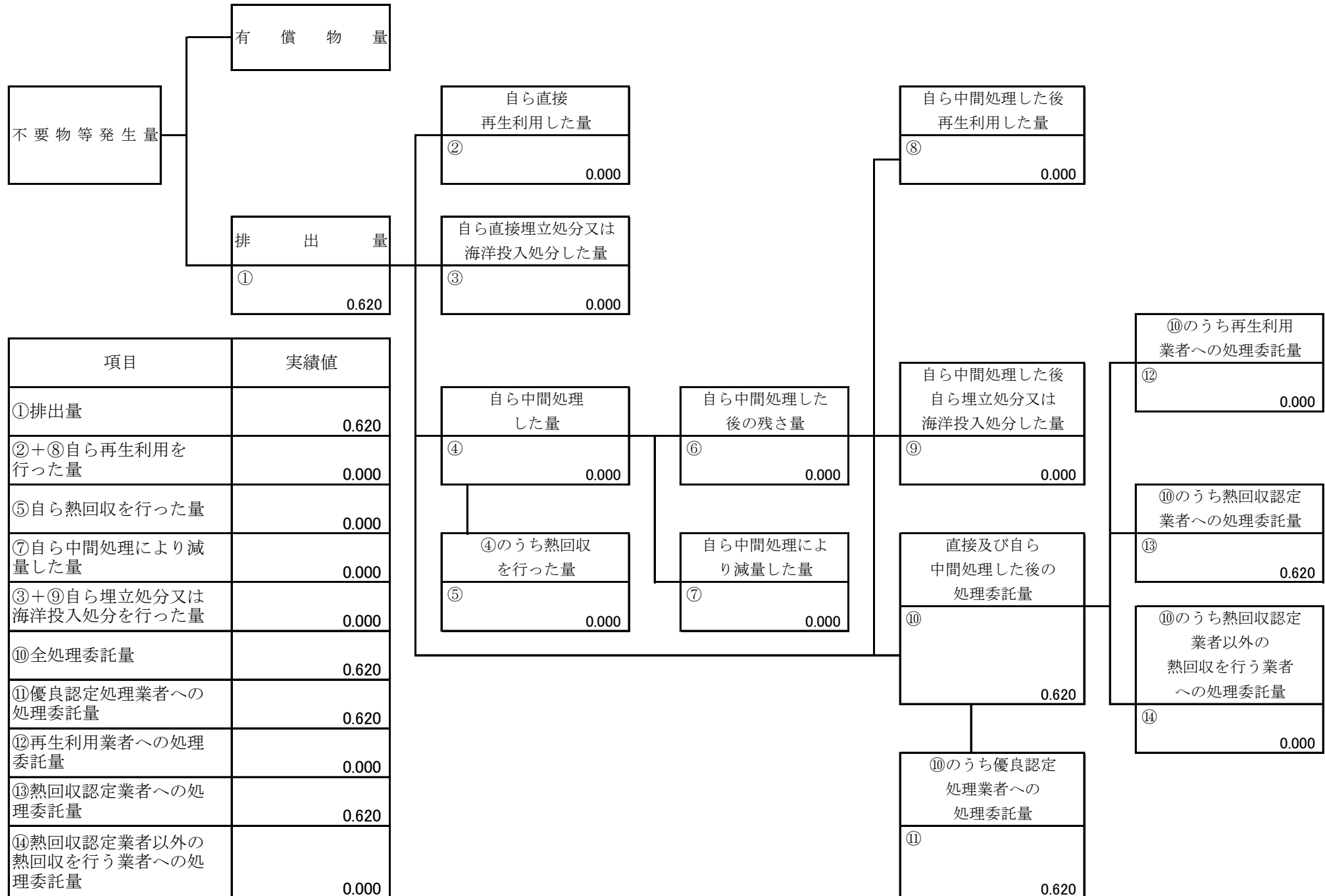
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず)



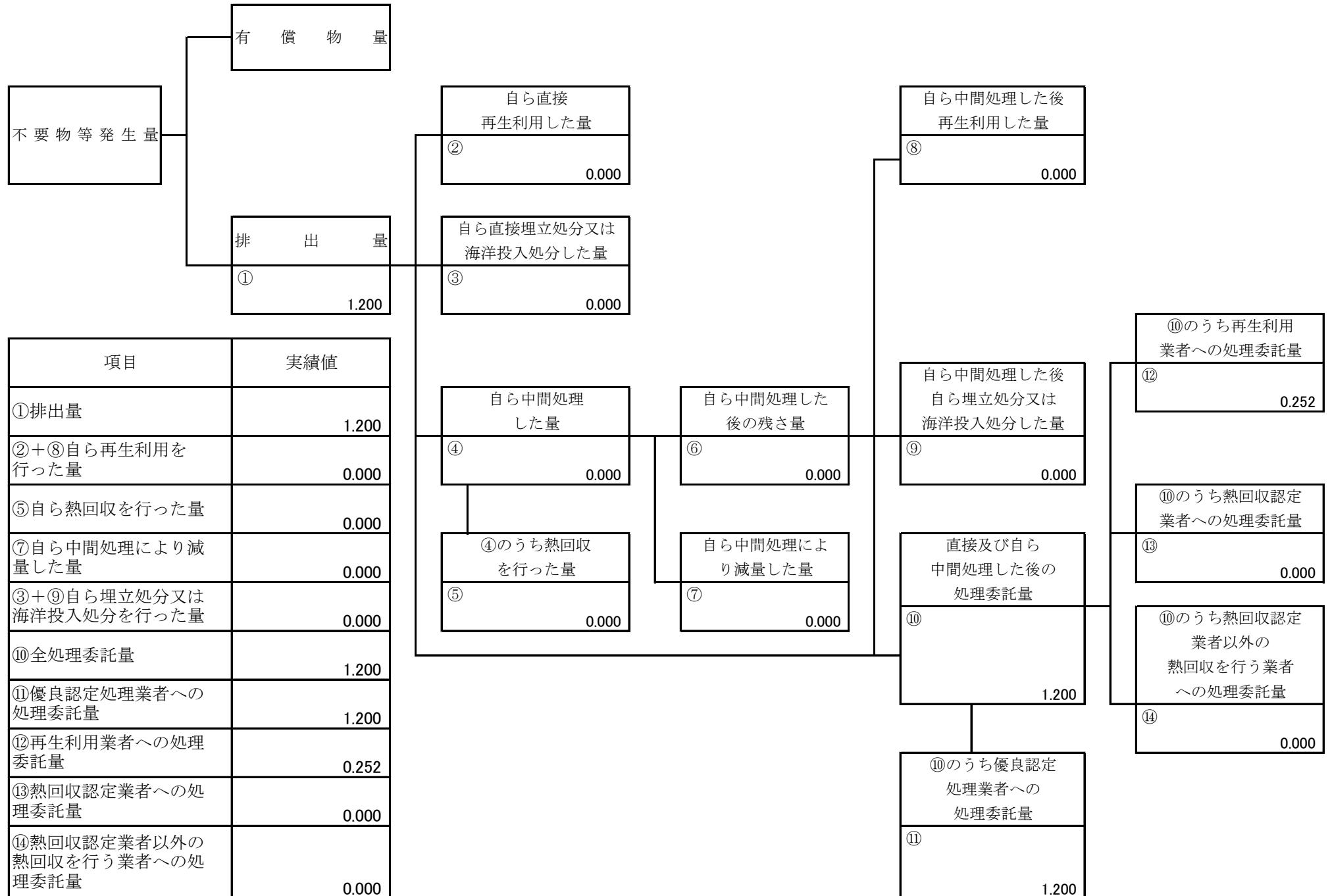
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： グラスウール)



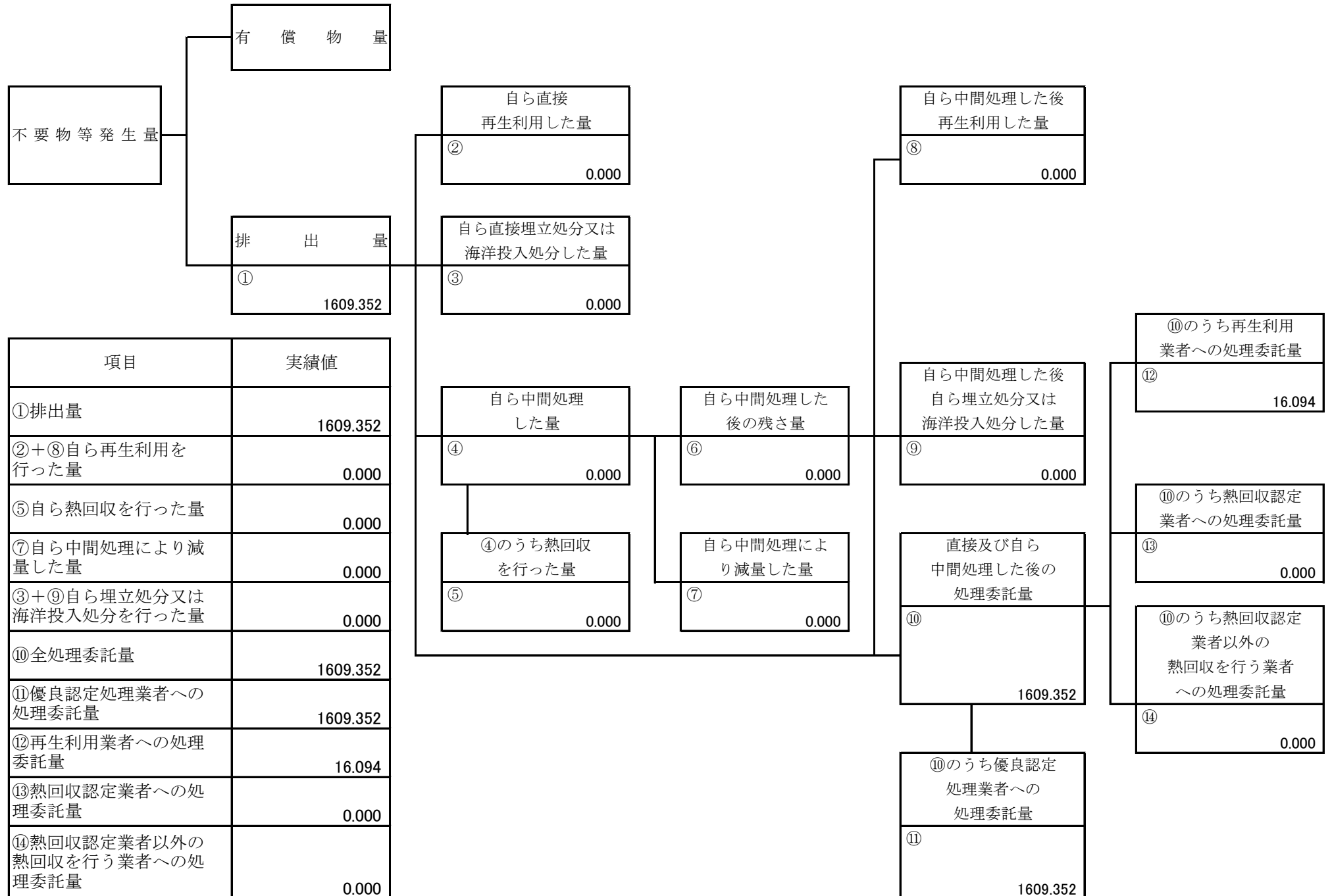
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 石膏ボード)



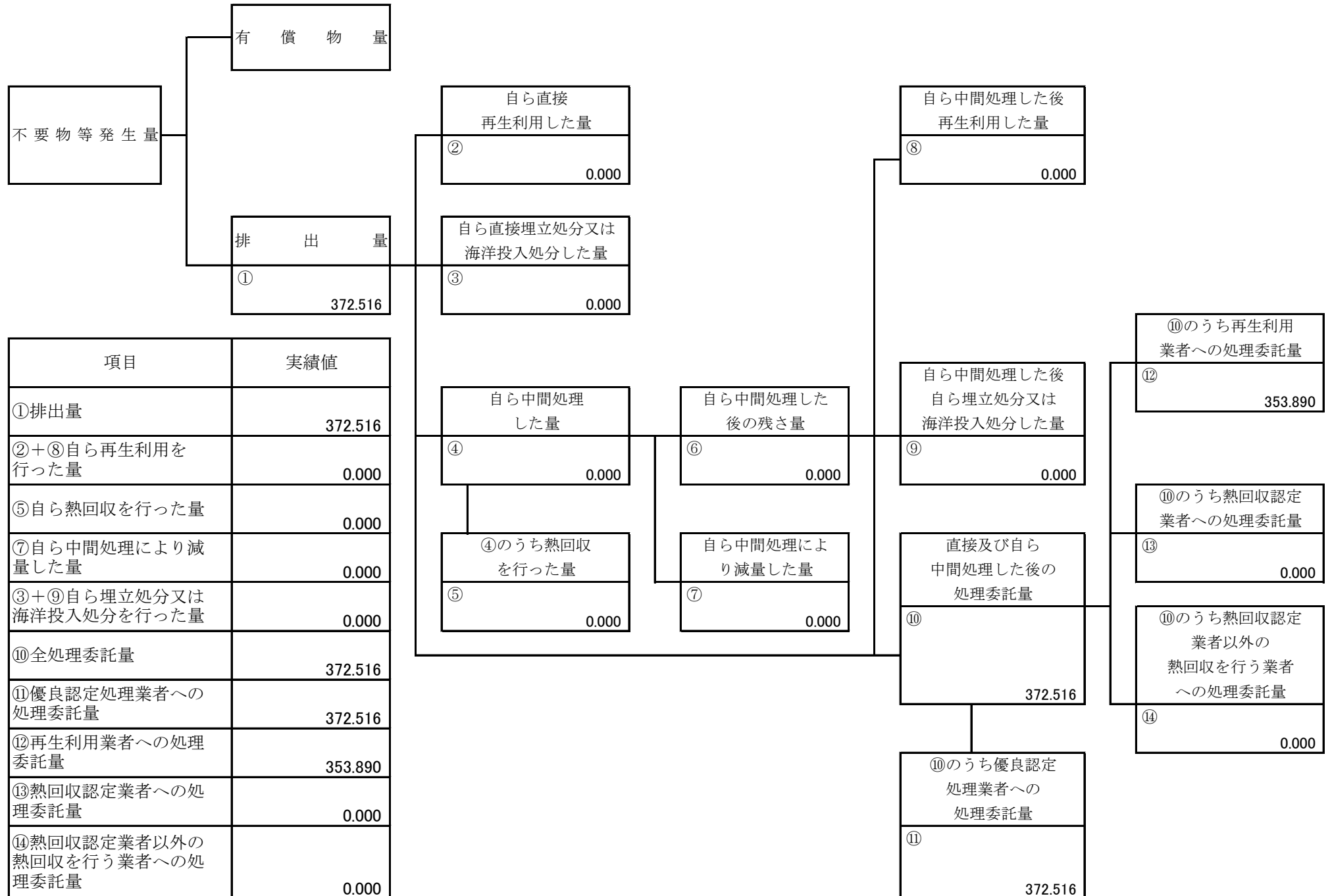
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： がれき類（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物）)



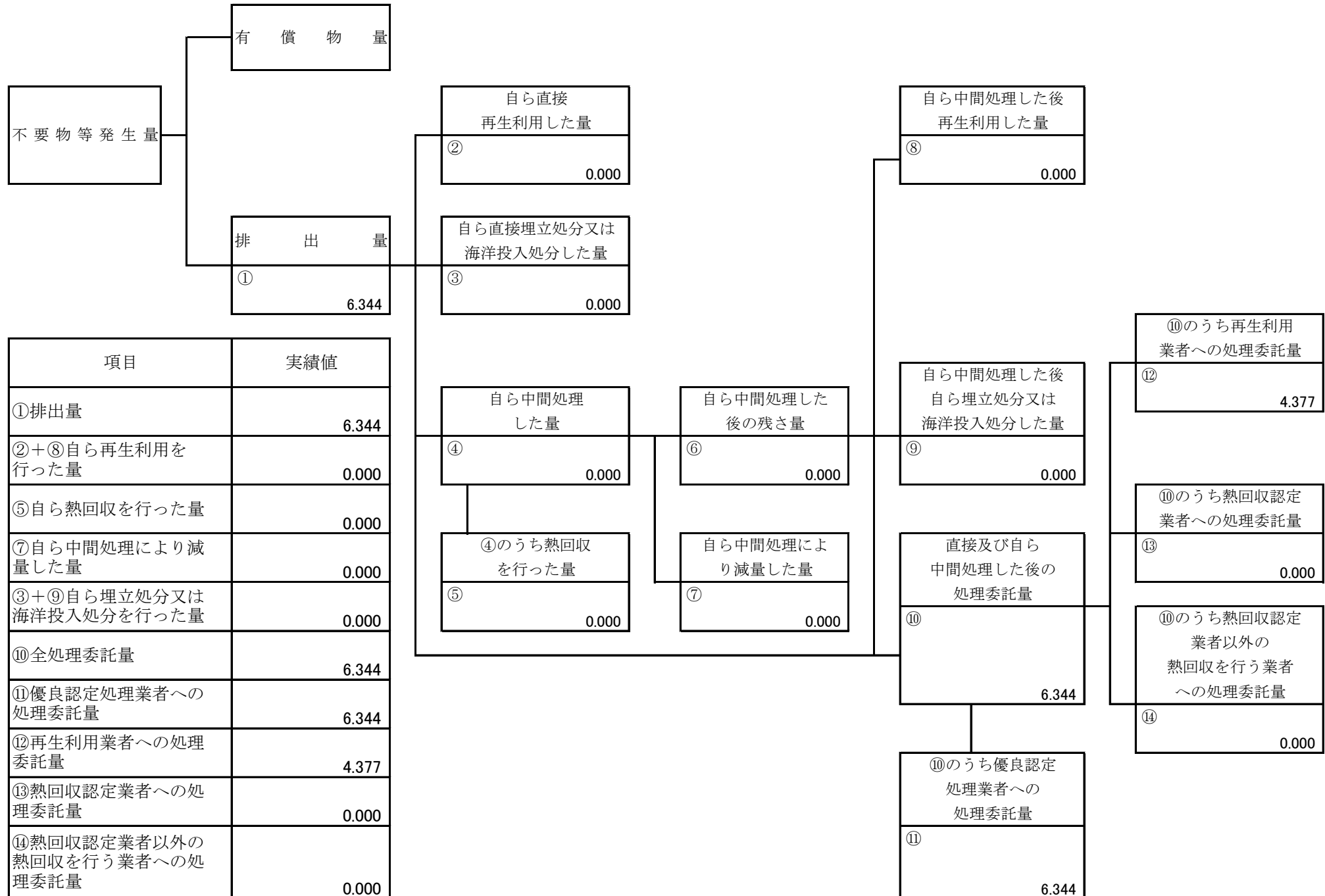
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： アスファルト・コンクリート破片)



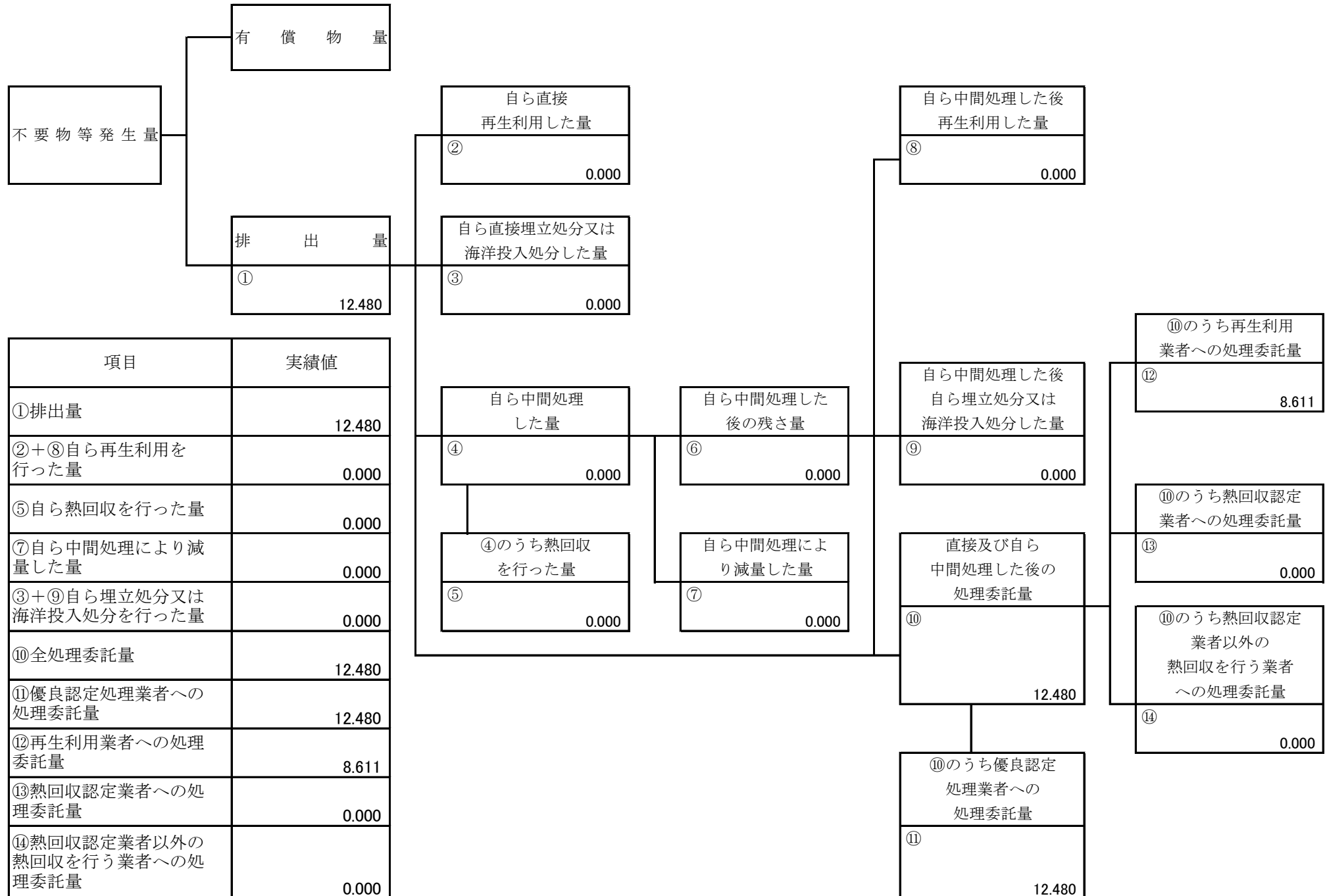
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 安定型建設混合廃棄物)



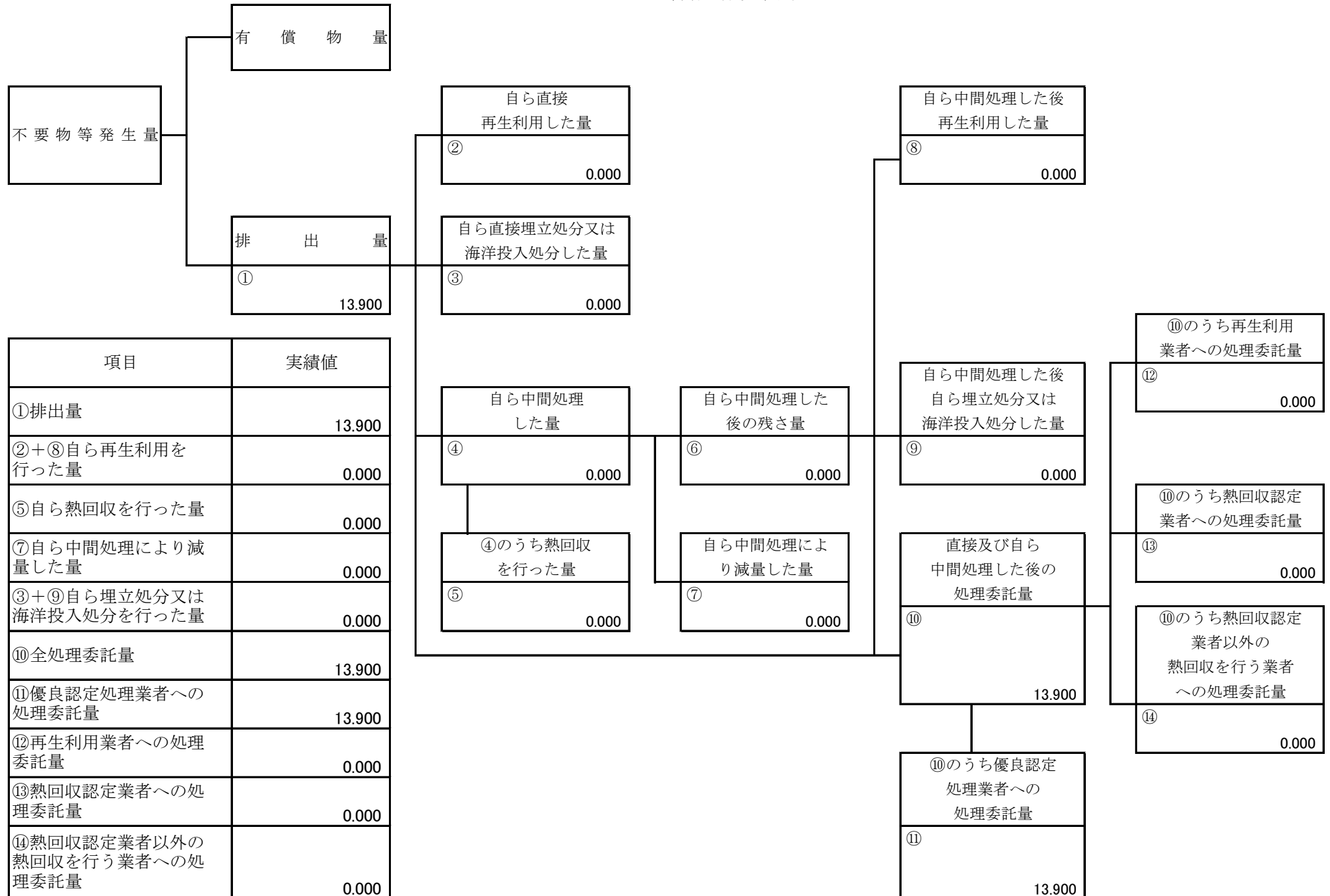
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 管理型建設混合廃棄物)



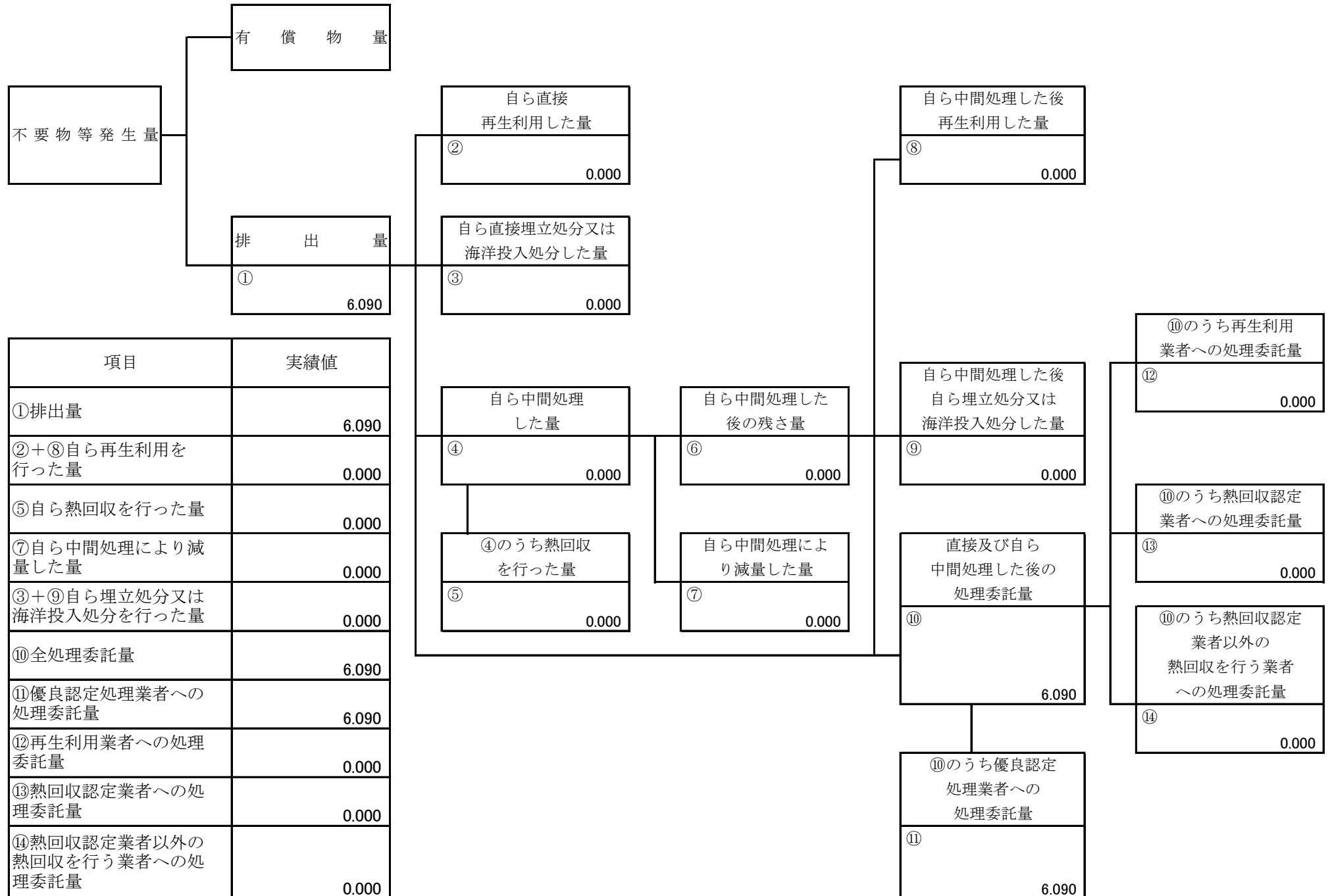
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物）



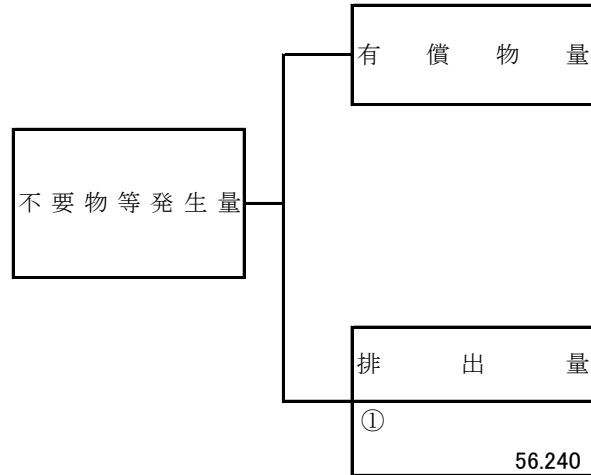
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類（石）
綿含有産業廃棄物)

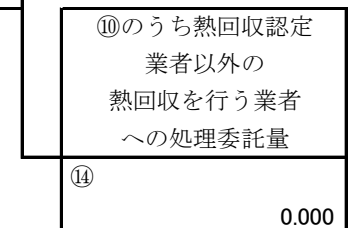
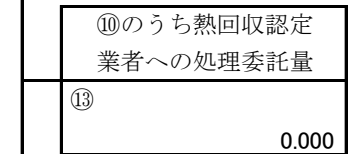
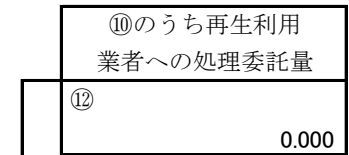
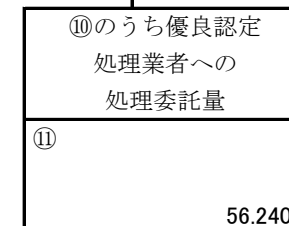
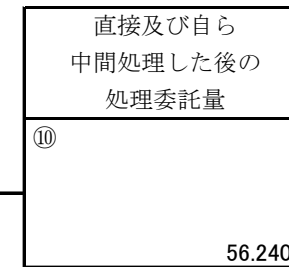
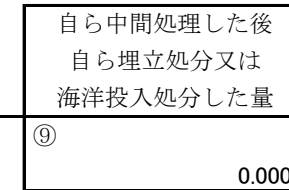
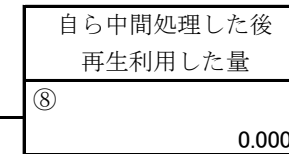
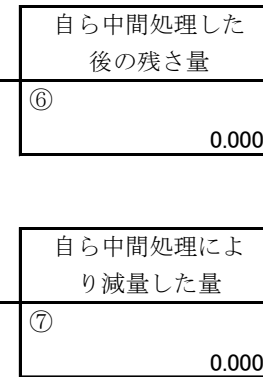


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : がれき類 (工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物)
(石綿含有産業廃棄物))

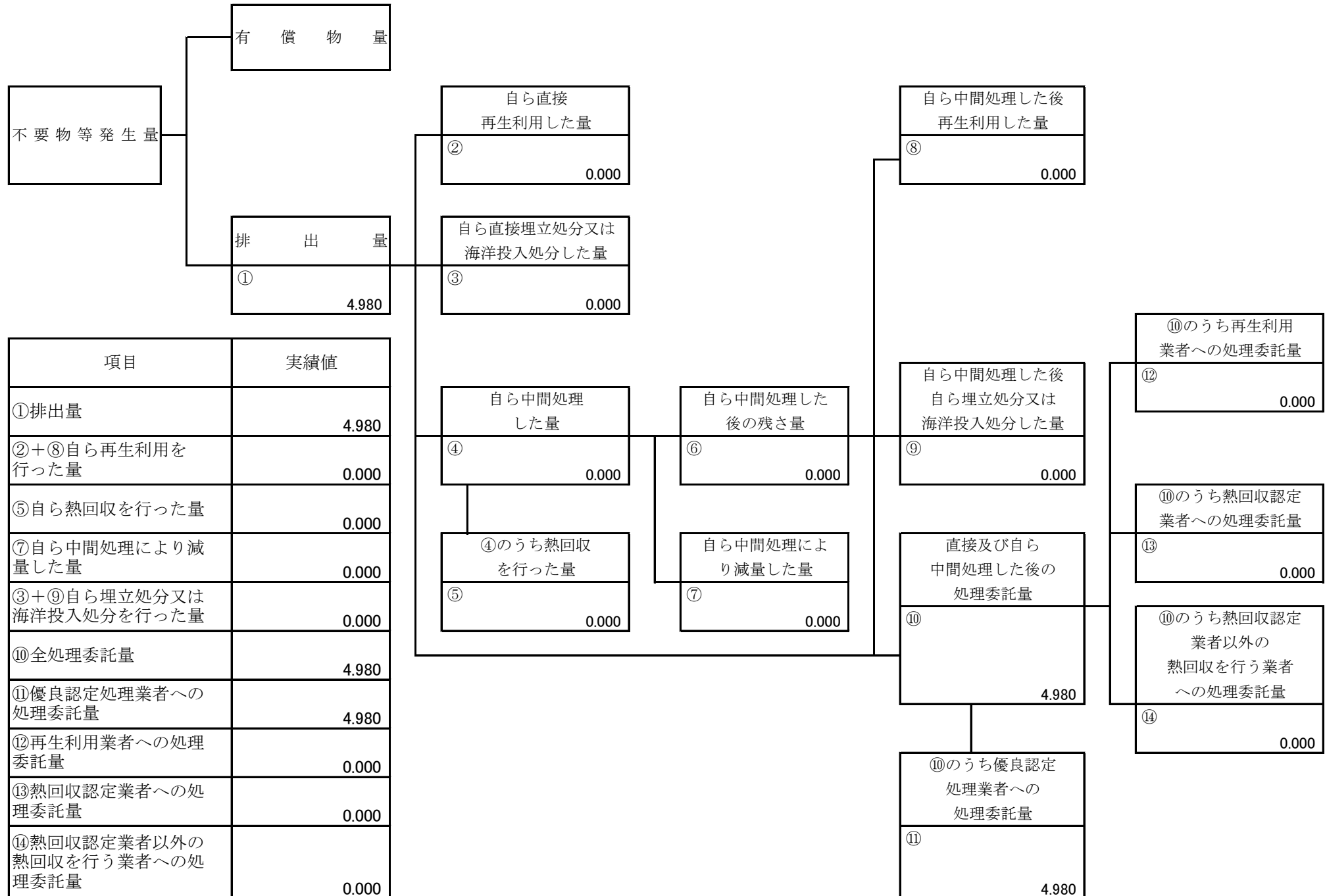


項目	実績値
①排出量	56.240
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	56.240
⑪優良認定処理業者への処理委託量	56.240
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃石綿等（飛散性）)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。